

「多摩振興アクションプラン（仮称）」素案の概要

プラン策定の背景

【これまでの取組、状況の変化】

- 多摩地域の可能性を最大限に生かし、地域全体の持続的発展や地域ごとの課題解決を図るという考えの下、人口減少・少子高齢化への対応、道路・交通インフラの整備、防災対策、産業振興等の取組を推進してきた
- 2025年をピークに人口減少に転じる見込み。DXの進展、ストックの有効活用の意識向上などの変化も生じている

【今後の対応】

- 多摩地域は、人口動向、土地利用、産業構造など、**地域によって様々な課題**を抱えている
同時に、豊かな自然や良質な住環境、歴史・文化、企業・大学、既存ストックなど**多様な地域資源**を有している
- 持続的発展のためには、**地域の持つポテンシャルなどを最大限に生かし、地域それぞれの魅力の向上や課題の解決を図る必要**
→「多摩振興アクションプラン（仮称）」を策定

プランの位置付け

- 「**2050東京戦略（案）**」を上位計画とし、そのビジョン等の実現に向け、「**多摩のまちづくり戦略（案）**」などの各局の計画等と整合を図り、**社会状況の変化も踏まえ、多摩に特化した視点**で地域の持続的発展に資する**具体的な取組**を示し、効果的に推進
- 2025年度から概ね3か年で多摩地域で実施する都事業、市町村等の主体的な取組への支援策、分野横断的に課題解決や**魅力の向上を図るアクション**などの多摩地域の振興策を掲げる
- 取組結果を毎年度とりまとめ**進行管理し、多摩地域の振興を図る**

「2050東京戦略（案）」

戦略25【多摩・島しょ】2050年代のビジョン（多摩関係）

地域の魅力に溢れ 快適で充実した暮らしを叶える 行きたい・住みたい多摩

「多摩振興アクションプラン（仮称）」素案の概要

「新しい多摩の振興プラン」の主な取組実績（2021年度～2023年度）

新しい働き方が浸透し、誰もが輝き、暮らしやすいまち

- ・「東京しごとセンター多摩」を立川市に移転・開設
- ・TOKYO GLOBAL GATEWAY GREEN SPRINGS開設

道路・交通ネットワークが充実し、地域特性に応じた快適なまち

- ・西東京3・2・6号調布保谷線（西東京市下保谷一丁目～同市北町三丁目）4車線交通開放
- ・多摩3・1・6号南多摩尾根幹線（唐木田）完成



〔南多摩尾根幹線(唐木田)〕

豊かな自然と都市機能が調和し、環境に優しいまち

- ・河川・水辺空間における緑化の推進（大栗川、乞田川等）

安全・安心な暮らしを守るまち

- ・梅ヶ谷トンネル開通（青梅市・日の出町）
- ・多摩総合医療センター東館整備



〔梅ヶ谷トンネル〕

地域資源と先端技術を活かし、スマートな産業が確立されたまち

- ・「東京都立多摩産業交流センター」（東京たま未来メッセ）開業
- ・東京都立大学日野キャンパス新棟（6号館）完成



〔東京たま未来メッセ〕

地域が持つ資源に磨きをかけ、人を惹きつけるまち

- ・THE ROAD RACE TOKYOの開催

多摩地域の現状と課題

【人口】

人口動向を踏まえ、移住者を増やし、定住につなげていく必要がある。あわせて、子育て環境や高齢者の暮らしの充実を図る必要がある。

- 人口は2025年までは増加傾向にあるが、それをピークに減少に転じる見込みである。

【産業】

地域産業や農業の課題や、ICT技術の進展など取り巻く環境の変化に対応する必要がある。

- 事業所の総数は、概ね12万台で推移している。2022年の製造品出荷額等は、都全体の約6割を占めている。

【生活】

空き家や大規模住宅の状況等を踏まえ、既存ストックとして有効活用していく必要がある。

- 空き家の総数（※）は、2023年には約24万戸となり、2018年と比較して5.7%増加している。 ※檜原村、奥多摩町除く

【自然】

豊かな自然をはじめとした地域資源の状況を踏まえ、それらの資源をまもり、活かす必要がある。

- 奥多摩の山々や、高尾山、狭山丘陵のほか、多摩川、玉川上水、国分寺崖線など、観光資源としてポテンシャルが高く、地域の住民に親しまれている身近な自然が豊富である。

「多摩振興アクションプラン（仮称）」素案の概要

エリア別の主な特性

西多摩エリア（青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町）

- 広大な森林が面積の約 8 割を占めており、山岳、清流、里山風景などの豊かな自然に恵まれている
- 既に人口減少が始まっている

南多摩エリア（八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市）

- 東名高速、中央道等を結ぶ圏央道の I C が 2 箇所あり各方面へのアクセスがよい。リニア中央新幹線の建設も進められ、更なるアクセスの向上が期待される
- 1950年代半ば以降に数多く建てられた団地では、老朽化などが顕在化している

北多摩西部エリア（立川市、昭島市、国分寺市、国立市、東大和市、武蔵村山市）

- 「TOKYO創業ステーションTAMA」、「東京しごとセンター多摩」など、多摩地域の創業・産業・雇用支援の拠点が存在している
- 宅地化や農業後継者不足等により、生産緑地面積が減少傾向にある

北多摩南部エリア（武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小金井市、狛江市）

- 武蔵野の森総合スポーツプラザなど、スポーツの拠点が整備されている
- 多摩川など水辺空間に恵まれ、また、深大寺など寺社や井の頭恩賜公園など魅力的なスポットを有している

北多摩北部エリア（小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市）

- 玉川上水や野火止用水、八国山緑地等、豊かな自然が広がっている
- 府中所沢線などの都市計画道路の整備を進めるほか、西武新宿線の連続立体交差化を推進し、交通渋滞の解消等に向けて取り組んでいる

プランの取組の概要

○多摩振興に資する2025年度から概ね3か年で実施する約500のハード・ソフト両面の都の事業を、多摩地域の更なる発展を目指した取組の区分でとりまとめ、都と市町村が連携し、取組を着実に推進していく

1 多様な人が集い・つながり、新しい価値を創造

移住・定住、コミュニティ、多様性 等

- ・市町村の、地域の実情に応じた主体的かつ計画的な移住・定住促進の取組を後押し
- ・空き家を移住定住者向けに改修する事業者を市町村が支援する場合等に財政支援を実施
- ・障害の有無などに関わらず、子供達が安全に遊ぶことができる遊び場の整備

など

2 安全・安心で人が快適に笑顔で暮らせる

子供、長寿、住まい、防犯、防災対策 等

- ・民間でのアフォーダブル住宅の供給を促進するため、ファンドへの出資を通じて、先導的に進めようとしている事業者の取組を支援
- ・避難所の環境整備や、災害時に有効活用できるトイレの確保等について、市区町村に対する支援を実施
- ・豪雨による浸水被害から都民の命と暮らしを守るため、市町村と連携し、護岸や調節池等の整備を推進

など

「多摩振興アクションプラン（仮称）」素案の概要

3 豊かな自然や環境と都市が調和し、人と自然が共生

自然（みどり・水辺）、ゼロエミッション 等

- ・ 森林の魅力をさらに引き出すため、良好な景観の支障となっている立木を伐採し園地整備を行うなど森林整備を促進
- ・ 保全地域の指定加速化に向け計画的に自然環境調査を行い、緑地がもたらす効果の見える化を図ることで都民の理解を促進
- ・ 事業者が都内及び都外（東京電力管内）に導入する地産地消型再生可能エネルギー設備や蓄電池の整備を支援 など

4 地域の特性を活かし、人を育み愛着と誇りを生む

まちづくり、学び・教育、スポーツ 等

- ・ 多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸部沿線において、まちづくりを推進
- ・ TAMAニュータウンプロジェクト（仮称）（先行プロジェクト：諏訪・永山まちづくり、多摩センター駅周辺再構築、南大沢スマートシティ）
- ・ 自動運転車両の公道走行による検証や自治体等へ財政支援などを実施
- ・ 子供目線に立った体験活動の創出や、「遊び」の機会創出に取り組む市区町村を支援 など

5 魅力に溢れ、多くの人が訪れ、地域とつながる

道路・交通ネットワーク、観光 等

- ・ 主要な骨格幹線道路である多摩南北・東西道路等の完成に向け、整備を推進
- ・ 優先整備路線について、「第四次事業化計画」等に基づき、計画的な事業化を推進
- ・ 西武新宿線（東村山駅付近）などの連続立体交差化を推進
- ・ リニア新駅（橋本駅付近）へのアクセス向上に資する道路（南多摩尾根幹線など）の整備を推進
- ・ 多彩な魅力の認知度を更に向上させるため、都内外に向けた観光プロモーションを実施 など

6 産業が根付き・働く場が充実、人が活気に満ちる

イノベーション、産業、農業、林業 等

- ・ 中小企業や大学・研究機関、スタートアップ等が交流し連携を強め、新たな製品等の社会実装を進める取組を支援
- ・ 東京農業をけん引する意欲ある経営体に対し、生産性の高い農業を展開するための施設整備や農業機械の導入を支援
- ・ 東京の農林水産業の魅力や新鮮で安全・安心な東京産農林水産物を幅広くPR など

7 働きやすく、様々な人のライフスタイルに応える

働き方、女性活躍、子育て支援 等

- ・ コワーキング施設での業務、住民や地域企業との交流等を行うワーケーション体験ツアーを実施
- ・ 学校始業前に小学校を活用して、安全・安心な子供の活動拠点（居場所）を設ける市区町村を支援 など

「多摩振興アクションプラン（仮称）」素案の概要

プランの取組の概要

○前記の約500事業のうち、多摩地域の特徴的な課題の解決や魅力の向上を図るため、分野横断的に取り組む6つのアクション

子供・若者

【子育て・地域資源・学び】

- 子育てしやすい環境の整備
- 地域資源を活かした遊びの提供
- 地元企業等を知る機会の創出

高齢者の暮らし

【移動・交流・生活】

- 移動しやすい環境の整備
- 交流の場の創出
- 安心して生活できる環境の確保

移住・定住

【移住・空き家・交流】

- 移住・定住の促進
- 空き家の掘り起こし・活用
- 地域コミュニティでの交流促進

みどりの活用

【みどり・育成・交流】

- みどりの保全
- 保全活動への参画・人材育成
- 緑化の推進・活用

産業振興

【産業・農業・DX】

- イノベーションの創出
- 都市農業の魅力発信
- 地域の多様な主体の連携

観光振興

【観光・交通・働き方】

- 多摩地域の誘客促進
- 快適な移動の環境整備
- 働き方の変化等への対応

市町村の取組

○市町村の広域的な連携や、創意工夫を凝らした取組に対し、技術支援・財政支援するとともに、魅力発信を連携して実施する

【広域的な連携の主な取組】

- ・ 共通プラットフォームを活用した企業情報と地域の魅力の発信
- ・ 秋川流域の魅力と回遊性の向上、居場所の形成、交流人口等の創出



【創意工夫を凝らした主な取組】

- ・ グリーンスローモビリティの実証運行
- ・ 空き家を活用した自走型自己実現拠点の共創事業
- ・ 健康eスポーツ事業
- ・ わさび栽培技術伝承・後継者育成事業

<スケジュール>

令和7年1月31日 プラン素案の公表 → パブリックコメント、市町村への意見照会

令和7年3月 プラン策定・公表(予定)